

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第6部門第3区分  
 【発行日】平成18年5月11日(2006.5.11)

【公開番号】特開2002-14849(P2002-14849A)  
 【公開日】平成14年1月18日(2002.1.18)  
 【出願番号】特願2000-200067(P2000-200067)

【国際特許分類】

G 06 F 11/32 (2006.01)  
 G 06 F 3/048 (2006.01)

【F I】

G 06 F	11/32	K
G 06 F	3/00	6 5 2 A
G 06 F	3/00	6 5 4

【手続補正書】

【提出日】平成18年3月15日(2006.3.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

それぞれ異なる形式のメッセージを出力し、かつ、それぞれ異なるコマンド体系を有するオペレーティング・システム(OS)が動作する複数計算機を監視するコンソール装置におけるシステム監視情報処理方法であって、

前記コンソール装置は、記憶装置と、表示装置とを含み、

前記方法は、

前記複数の計算機から、各計算機上で動作するOSが出力する複数のメッセージを取得し、

前記複数の計算機から取得した複数のメッセージの各メッセージをワード単位に分割し

前記記憶装置に格納されているファイルであって、前記複数のOSが出力する複数のメッセージの各メッセージに対して、そのメッセージの一部の文字列と、その文字列がそのメッセージ内の何番目のワードであるかを示す位置情報とを含む選択条件と、前記選択条件に対応する、共通形式のメッセージとが定義されているファイルを参照し、

前記複数の計算機から取得したメッセージ中に、前記選択条件が示す位置に前記選択条件が示す文字列がある場合、その取得したメッセージを、その一致した選択条件に対応する共通形式のメッセージに変換し、

前記共通形式に変換された各メッセージを前記表示装置に表示することを特徴とするシステム監視情報処理方法。

【請求項2】

請求項1に記載のシステム監視情報処理方法であって、

前記共通形式に変換された各メッセージを前記表示装置に表示する際に、そのメッセージの変換前のメッセージを併せて表示することを特徴とするシステム監視情報処理方法。

【請求項3】

請求項1に記載のシステム監視情報処理方法であって、

前記共通形式に変換された各メッセージは日本語で前記表示装置に表示されることを特徴とするシステム監視情報処理方法。

**【請求項4】**

それぞれ異なる形式のメッセージを出力し、かつ、それぞれ異なるコマンド体系を有するオペレーティング・システム(OS)が動作する複数計算機を監視するコンソール装置におけるシステム監視情報処理方法であって、前記コンソール装置は、記憶装置と、表示装置とを含み、前記方法は、

前記複数の計算機から、各計算機上で動作するOSが出力する複数のメッセージを取得し、

前記複数の計算機から取得した前記複数のメッセージを、共通形式のメッセージに変換し、

前記共通形式に変換された各メッセージを前記表示装置に表示し、

前記共通形式に変換された各メッセージを前記表示装置に表示する際に、そのメッセージを出力した計算機を識別するための情報併せて表示することを特徴とするシステム監視情報処理方法。

**【請求項5】**

それぞれ異なる形式のメッセージを出力し、かつ、それぞれ異なるコマンド体系を有するオペレーティング・システム(OS)が動作する複数計算機を監視するコンソール装置におけるシステム監視情報処理方法であって、

前記コンソール装置は、記憶装置と、表示装置とを含み、

前記方法は、

前記複数の計算機から、各計算機上で動作するOSが出力する複数のメッセージを取得し、

前記記憶装置に格納されているファイルであって、前記複数のOSが出力する複数のメッセージの各メッセージに対して、そのメッセージの一部の文字列を含む選択条件と、前記選択条件に対応する、共通形式のメッセージとが定義されているファイルを参照し、

前記複数の計算機から取得したメッセージ中に、前記選択条件と一致する文字列がある場合、その取得したメッセージを、その一致した選択条件に対応する共通形式のメッセージに変換し、

前記共通形式に変換された各メッセージを前記表示装置に表示することを特徴とするシステム監視情報処理方法。

**【請求項6】**

請求項5に記載のシステム監視情報処理装置であって、

前記一致した選択条件に対応する共通形式メッセージ中に、その取得したメッセージ中の一部の文字列を代入し、

その一部の文字列が代入されたメッセージを前記表示装置に表示することを特徴とするシステム監視情報処理方法。

**【請求項7】**

請求項5に記載のシステム監視情報処理方法であって、

前記ファイルには、前記複数のOSが出力する複数のメッセージの各メッセージに対して、そのメッセージの一部の文字列と、その一部の文字列のそのメッセージ内での位置情報を含む選択条件と、前記選択条件に対応する、共通形式のメッセージとが定義されていることを特徴とするシステム監視情報処理方法。

**【請求項8】**

請求項1に記載のシステム監視情報処理装置であって、

前記一致した選択条件に対応する共通形式メッセージ中に、その取得したメッセージ中の一部の文字列を代入し、その一部の文字列が代入されたメッセージを前記表示装置に表示することを特徴とするシステム監視情報処理方法。

**【請求項9】**

請求項4に記載のシステム監視情報処理方法であって、

前記記憶装置に格納されている、前記複数のOSが出力する複数のメッセージ中の付加情報に含まれる、それらのメッセージの重要度を示す情報を含む選択条件と、前記選択条

件に対応する共通形式メッセージとを格納するファイルを参照し、

前記複数の計算機から取得したメッセージ中の付加情報中に、前記選択条件と一致する重要度が定義されている場合、その取得したメッセージを、その一致した選択条件に対応する共通形式のメッセージに変換することを特徴とするシステム監視情報処理方法。

#### 【請求項 10】

請求項 9 に記載のシステム監視情報処理装置であって、

前記一致した選択条件に対応する共通形式メッセージ中に、その取得したメッセージ中の一部の文字列を代入し、

その一部の文字列が代入されたメッセージを前記表示装置に表示することを特徴とするシステム監視情報処理方法。

#### 【請求項 11】

それぞれ異なる形式のメッセージを出力し、かつ、それぞれ異なるコマンド体系を有するオペレーティング・システム（OS）が動作する複数計算機を監視するコンソール装置におけるシステム監視情報処理方法であって、

前記コンソール装置は、記憶装置と、表示装置とを含み、

前記方法は、

前記複数の計算機から、各計算機上で動作する OS が出力する複数のメッセージを取得し、

前記複数の計算機から取得した前記複数のメッセージを、共通形式のメッセージに変換し、

前記複数の計算機から取得した前記複数のメッセージの各メッセージに対して、対処方法を前記表示装置に表示し、そのメッセージを出力した OS 固有のコマンドであって、その対処方法を実行するためのコマンド生成し、

そのコマンドを、そのメッセージを出力した OS に送信し、

前記共通形式に変換された各メッセージを前記表示装置に表示することを特徴とするシステム監視情報処理方法。

#### 【請求項 12】

請求項 11 に記載のシステム監視情報処理方法であって、

前記記憶装置に格納されているファイルであって、前記複数の OS が出力する複数のメッセージの各メッセージに対して、そのメッセージの一部の文字列を含む第 1 の選択条件と、前記選択条件に対応する、共通形式のメッセージとが定義されているファイルを参照し、

前記複数の計算機から取得したメッセージ中に、前記選択条件と一致する文字列がある場合、その取得したメッセージを、その一致した選択条件に対応する共通形式のメッセージに変換し、

前記記憶装置に格納されているファイルであって、前記複数の OS が出力する複数のメッセージの各メッセージに対して、そのメッセージの一部の文字列を含む第 2 の選択条件と、前記選択条件に対応する、そのメッセージに対する対処方法が表記されるメッセージとが定義されている第 2 のファイルを参照し、

前記複数の計算機から取得したメッセージ中に、前記第 2 の選択条件と一致する文字列がある場合、その一致した第 2 の選択条件に対応する、対処方法が表記されるメッセージを前記表示装置に表示することを特徴とするシステム監視情報処理方法。

#### 【請求項 13】

請求項 12 に記載のシステム監視情報処理方法であって、

前記第 1 の選択条件と、前記第 2 の選択条件は同一であることを特徴とするシステム監視情報処理方法。

#### 【請求項 14】

請求項 12 に記載のシステム監視情報処理装置であって、

前記一致した前記第 1 の選択条件に対応する共通形式メッセージ中に、その取得したメッセージ中の一部の文字列を代入し、

その一部の文字列が代入されたメッセージを前記表示装置に表示し、  
前記一致した前記第2の選択条件に対応する対処方法が表記されるメッセージ中に、その取得したメッセージ中の一部の文字列を代入し、  
その一部の文字列が代入された対処方法を表記するメッセージを前記表示装置に表示することを特徴とするシステム監視情報処理方法。

【請求項15】

請求項12に記載のシステム監視情報処理方法であって、  
前記第1のファイルには、前記複数のOSが出力する複数のメッセージの各メッセージに対して、そのメッセージの一部の文字列と、その一部の文字列のそのメッセージ内での位置情報とを含む前記第1の選択条件と、前記第1の選択条件に対応する、共通形式のメッセージとが定義されており、

前記第2のファイルには、前記複数のOSが出力する複数のメッセージの各メッセージに対して、そのメッセージの一部の文字列と、その一部の文字列のそのメッセージ内での位置情報とを含む前記第2の選択条件と、前記第2の選択条件に対応する、そのメッセージに対する対処方法が表記されるメッセージとが定義されていることを特徴とするシステム監視情報処理方法。

【請求項16】

請求項11に記載のシステム監視情報処理方法であって、  
前記複数の計算機から取得した複数のメッセージの各メッセージをワード単位に分割し、  
前記記憶装置に格納されているファイルであって、前記複数のOSが出力する複数のメッセージの各メッセージに対して、そのメッセージの一部の文字列と、その文字列がそのメッセージ内の何番目のワードであるかを示す位置情報とを含む第1の選択条件と、前記第1の選択条件に対応する、共通形式のメッセージとが定義されているファイルを参照し、  
前記複数の計算機から取得したメッセージ中に、前記選択条件が示す位置に前記第1の選択条件が示す文字列がある場合、その取得したメッセージを、その一致した選択条件に対応する共通形式のメッセージに変換し、

前記記憶装置に格納されているファイルであって、前記複数のOSが出力する複数のメッセージの各メッセージに対して、そのメッセージの一部の文字列と、その文字列がそのメッセージ内の何番目のワードであるかを示す位置情報とを含む第2の選択条件と、前記第2の選択条件に対応する、そのメッセージに対する対処方法が表記されるメッセージとが定義されている第2のファイルを参照し、

前記複数の計算機から取得したメッセージ中に、前記第2の選択条件が示す位置に前記第2の選択条件が示す文字列がある場合、その一致した第2の選択条件に対応する、対処方法が表記されるメッセージを前記表示装置に表示することを特徴とするシステム監視情報処理方法。

【請求項17】

請求項16に記載のシステム監視情報処理装置であって、  
前記一致した前記第1の選択条件に対応する共通形式メッセージ中に、その取得したメッセージ中の一部の文字列を代入し、  
その一部の文字列が代入されたメッセージを前記表示装置に表示し、  
前記一致した前記第2の選択条件に対応する対処方法が表記されるメッセージ中に、その取得したメッセージ中の一部の文字列を代入し、  
その一部の文字列が代入された対処方法を表記するメッセージを前記表示装置に表示することを特徴とするシステム監視情報処理方法。

【請求項18】

それぞれ異なる形式のメッセージを出力し、かつ、それぞれ異なるコマンド体系を有するオペレーティング・システム(OS)が動作する複数計算機を監視し、記憶装置と、表示装置とを含むコンソール装置を制御するためのプログラムを記録したコンピュータで読

み取り可能な記録媒体であって、

前記プログラムは、

前記複数の計算機から取得した、各計算機上で動作するOSが出力する複数のメッセージの各メッセージをワード単位に分割し、

前記記憶装置に格納されているファイルであって、前記複数のOSが出力する複数のメッセージの各メッセージに対して、そのメッセージの一部の文字列と、その文字列がそのメッセージ内の何番目のワードであるかを示す位置情報とを含む選択条件と、前記選択条件に対応する、共通形式のメッセージとが定義されているファイルを参照し、

前記複数の計算機から取得したメッセージ中に、前記選択条件が示す位置に前記選択条件が示す文字列がある場合、その取得したメッセージを、その一致した選択条件に対応する共通形式のメッセージに変換し、

前記共通形式に変換された各メッセージを前記表示装置に表示することを特徴とするコンソール装置を制御するためのプログラムを記録したコンピュータで読み取り可能な記録媒体。

#### 【請求項19】

請求項18に記載のコンソール装置を制御するためのプログラムを記録したコンピュータで読み取り可能な記録媒体であって、

前記プログラムは、

前記共通形式に変換された各メッセージを前記表示装置に表示する際に、そのメッセージの変換前のメッセージを併せて表示することを特徴とするコンソール装置を制御するためのプログラムを記録したコンピュータで読み取り可能な記録媒体。

#### 【請求項20】

請求項18に記載のコンソール装置を制御するためのプログラムを記録したコンピュータで読み取り可能な記録媒体であって、

前記プログラムは、

前記共通形式に変換された各メッセージを日本語で前記表示装置に表示することを特徴とするコンソール装置を制御するためのプログラムを記録したコンピュータで読み取り可能な記録媒体。

#### 【請求項21】

それぞれ異なる形式のメッセージを出力し、かつ、それぞれ異なるコマンド体系を有するオペレーティング・システム(OS)が動作する複数計算機を監視し、記憶装置と、表示装置とを含むコンソール装置を制御するためのプログラムを記録したコンピュータで読み取り可能な記録媒体であって、

前記プログラムは、

前記複数の計算機から取得した、各計算機上で動作するOSが出力する複数のメッセージの各メッセージをワード単位に分割し、

前記記憶装置に格納されているファイルであって、前記複数のOSが出力する複数のメッセージの各メッセージに対して、そのメッセージの一部の文字列と、その文字列がそのメッセージ内の何番目のワードであるかを示す位置情報とを含む選択条件と、前記選択条件に対応する、共通形式のメッセージとが定義されているファイルを参照し、

前記複数の計算機から取得したメッセージ中に、前記選択条件が示す位置に前記選択条件が示す文字列がある場合、その取得したメッセージを、その一致した選択条件に対応する共通形式のメッセージに変換し、

前記共通形式に変換された各メッセージを前記表示装置に表示する際に、そのメッセージを出力した計算機を識別するための情報を併せて表示することを特徴とするコンソール装置を制御するためのプログラムを記録したコンピュータで読み取り可能な記録媒体。

#### 【請求項22】

それぞれ異なる形式のメッセージを出力し、かつ、それぞれ異なるコマンド体系を有するオペレーティング・システム(OS)が動作する複数計算機を監視し、記憶装置と、表示装置とを含むコンソール装置を制御するためのプログラムを記録したコンピュータで読み

み取り可能な記録媒体であって、

前記プログラムは、

前記複数の計算機から取得した、各計算機上で動作するOSが出力する複数のメッセージの各メッセージをワード単位に分割し、

前記記憶装置に格納されているファイルであって、前記複数のOSが出力する複数のメッセージの各メッセージに対して、そのメッセージの一部の文字列を含む選択条件と、前記選択条件に対応する、共通形式のメッセージとが定義されているファイルを参照し、

前記複数の計算機から取得したメッセージ中に、前記選択条件と一致する文字列がある場合、その取得したメッセージを、その一致した選択条件に対応する共通形式のメッセージに変換し、

前記共通形式に変換された各メッセージを前記表示装置に表示することを特徴とするコンソール装置を制御するためのプログラムを記録したコンピュータで読み取り可能な記録媒体。

#### 【請求項2\_3】

請求項2\_2に記載のコンソール装置を制御するためのプログラムを記録したコンピュータで読み取り可能な記録媒体であって、

前記プログラムは、

前記一致した選択条件に対応する共通形式メッセージ中に、その取得したメッセージ中の一部の文字列を代入し、

その一部の文字列が代入されたメッセージを前記表示装置に表示することを特徴とするコンソール装置を制御するためのプログラムを記録したコンピュータで読み取り可能な記録媒体。

#### 【請求項2\_4】

請求項2\_2に記載のコンソール装置を制御するためのプログラムを記録したコンピュータで読み取り可能な記録媒体であって、

前記プログラムは、

前記複数のOSが出力する複数のメッセージの各メッセージに対して、そのメッセージの一部の文字列と、その一部の文字列のそのメッセージ内の位置情報を含む選択条件と、前記選択条件に対応する、共通形式のメッセージとが定義されている前記ファイルを参照することを特徴とするコンソール装置を制御するためのプログラムを記録したコンピュータで読み取り可能な記録媒体。

#### 【請求項2\_5】

それぞれ異なる形式のメッセージを出力し、かつ、それぞれ異なるコマンド体系を有するオペレーティング・システム(OS)が動作する複数計算機を監視し、記憶装置と、表示装置とを含むコンソール装置を制御するためのプログラムを記録したコンピュータで読み取り可能な記録媒体であって、

前記プログラムは、

前記複数の計算機から取得した、各計算機上で動作するOSが出力する複数のメッセージの各メッセージをワード単位に分割し、

前記記憶装置に格納されているファイルであって、前記複数のOSが出力する複数のメッセージの各メッセージに対して、そのメッセージの一部の文字列と、その文字列がそのメッセージ内の何番目のワードであるかを示す位置情報を含む選択条件と、前記選択条件に対応する、共通形式のメッセージとが定義されているファイルを参照し、

前記複数の計算機から取得したメッセージ中に、前記選択条件が示す位置に前記選択条件が示す文字列がある場合、その取得したメッセージを、その一致した選択条件に対応する共通形式のメッセージに変換し、

前記共通形式に変換された各メッセージを前記表示装置に表示し、

前記複数の計算機から取得した前記複数のメッセージの各メッセージに対して、対処方法を前記表示装置に表示し、

前記各メッセージを出力したOS固有のコマンドであって、その対処方法を実行するた

めのコマンドを生成し、そのコマンドを、そのメッセージを出力したOSに送信することを特徴とするコンソール装置を制御するためのプログラムを記録したコンピュータで読み取り可能な記録媒体。

【請求項26】

請求項25に記載のコンソール装置を制御するためのプログラムを記録したコンピュータで読み取り可能な記録媒体であって、

前記プログラムは、

前記記憶装置に格納されているファイルであって、前記複数のOSが出力する複数のメッセージの各メッセージに対して、そのメッセージの一部の文字列を含む第1の選択条件と、前記選択条件に対応する、共通形式のメッセージとが定義されているファイルを参照し、

前記複数の計算機から取得したメッセージ中に、前記選択条件と一致する文字列がある場合、その取得したメッセージを、その一致した選択条件に対応する共通形式のメッセージに変換し、

前記記憶装置に格納されているファイルであって、前記複数のOSが出力する複数のメッセージの各メッセージに対して、そのメッセージの一部の文字列を含む第2の選択条件と、前記選択条件に対応する、そのメッセージに対する対処方法が表記されるメッセージとが定義されている第2のファイルを参照し、

前記複数の計算機から取得したメッセージ中に、前記第2の選択条件と一致する文字列がある場合、その一致した第2の選択条件に対応する、対処方法が表記されるメッセージを前記表示装置に表示することを特徴とするコンソール装置を制御するためのプログラムを記録したコンピュータで読み取り可能な記録媒体。